

各 位

会 社 名 協 立 電 機 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 雅 寛  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 6 8 7 4 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 執 行 役 員 EMC 推 進 セ ン タ ー 長  
川 口 恵 之  
電 話 0 5 4 - 2 8 8 - 8 8 6 7

## 当社グループの事業譲受に関するお知らせ

当社は、ITとFA(ファクトリーオートメーション)の融合分野であるインテリジェントFAシステムの開発を軸に事業展開しております。今般、株式会社ネオシステムより同社の電気・電子事業部門を当社の100%子会社でベンチャー型企業である電子技研工業株式会社が事業譲受いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 主旨及びその内容

株式会社ネオシステムの電気・電子事業は、1. EMC 関連、2. 密閉体向け高速検査設備関連、3. 高信頼ワイヤハーネス検査装置関連の3つから成り、各々その専門分野に特化した技術を多数保有しています。電子技研工業株式会社は、株式会社ネオシステムの技術と協立電機グループ独自のIT・FA技術を融合することに依り、ニッチ市場を対象としたベンチャー型企業として、今後は更に高機能で且つ成長の見込まれる新製品の開発を行います。

電子技研工業株式会社の事業拡大に伴い、当社はこの度同社に20百万円の増資を行い、その開発を支援いたします。

#### 2. 今後の見通し

当社では、以前よりEMC推進センターを設置しEMC事業に注力して参りました。世界的に自動車の電子化、無線応用装置の多様化、電子機器の小型化等に伴いEMC評価需要は日に日に増加すると共に求められる技術内容の高度化と広範囲に渡る規格化が進行しています。電子技研工業株式会社を中核にEMC関連事業を強化することに依り、様々な顧客ニーズに対し、より広範囲に製品開発することが可能となります。また、ワイヤハーネス検査分野では当社連結対象子会社である半導体基板検査装置を開発する協立テストシステム株式会社と技術協力することで、更に高度な検査装置開発を実現して参ります。

電子技研工業株式会社は、この事業拡張により本年度若干の売上増を見込みますが、当社の収益面に与える影響は軽微であると共に連結対象外でありますので、本件に伴う今期の業績予想の修正はありません。

(ご参考)

##### (1) 電子技研工業株式会社

本 社 神奈川県横浜市港北区新吉田町190番地  
代 表 者 川口 恵之  
売 上 高 2億円/2014年6月計画  
資 本 金 30百万円  
従 業 員 数 11名  
事 業 内 容 高感度レーザー振動センサーの企画・開発・製造

(2) 株式会社ネオシステム

本 社 神奈川県横浜市青葉区青葉台 2 丁目 32-7

代 表 者 山崎 克己

売 上 高 3 億 1,000 万円 / 2013 年 9 月期

資 本 金 30 百万円

従 業 員 数 13 名

事 業 内 容 1. 建築部門(屋根塗装、外壁塗装、防水工事)

2. 電気部門(EMC 評価関連、密閉体向け高速検査設備関連、ワイヤハーネス検査装置関連)

(3) EMCとは、電磁両立性(Electro-Magnetic Compatibility)の略称。不要な電磁波を発生し電磁妨害(EMI: Electro Magnetic Interference)を発生させない電磁不干涉と、電磁感受性(EMS: Electro Magnetic Susceptibility)に依り外来の電磁波で自身の動作が阻害されない電磁耐性を両立させることを言います。

以上